

# 所管行政において生じる課題について

- 通貨偽造の取締りに関する観点からは、C B D Cの偽造又は不正作出は困難であること、また、偽造等か否かを判別できる（証拠が残る）ことが望ましいのではないかと。
- サイバー事案の取締りに関する観点からは、不正アクセス等による情報の流出等が困難な仕組みであるとともに、C B D Cの利用者を特定し、かつ、不正アクセス等による情報の流出等の痕跡を事後追跡できるものであることが望ましいのではないかと。
- 犯罪収益移転防止に関する観点からは、C B D Cの所有や移転（C B D C以外の法定通貨、ステーブルコイン、暗号資産、電子マネーその他の財産との交換を含む）において、利用者を特定し、追跡できることが望ましいのではないかと。
- 犯罪収益の剥奪、被害回復に関する観点からは、C B D Cの押収、没収保全、没収、移転防止の方法を検討する必要があるのではないかと。